

「あそび」が引き出す「まなび」は無限 大人も子どもも この指とまれ



■第208回 サポートセンターの日

特定非営利活動法人あそびとまなび研究所 (略称 あそけん)

代表 秋葉 祐三子氏 & スタッフのみなさん

子どものあそびと学びにかかわる実践と調査・研究を通して、子育て環境の改善を図ることにより、子どもと親の健やかな育ちとまちづくりを応援することを目的とする団体です。

海や緑地で自然と触れ合う親子の活動、0歳からの環境教育、親支援活動、子どもの人権学習活動、子どもの居場所・あそび場づくり、子ども食堂、学習支援、相談活動などを行っています。

学校でも習い事でも家庭でもない、4番目の居場所、それが“あそけん (ASOKEN)”です。

子ども達の笑顔があふれている活動場所“ひびきのbase”へ、遊びに来てください。

特定非営利活動法人あそびとまなび研究所 ひびきのbase (駐車場あり)

住所：若松区ひびきの1-7 北九州市立大学ひびきのキャンパス留学生会館1階北

開いている曜日・時間：毎週月・水曜日

電話：070-5495-6543 Eメール：contact@asobitomanabi.org

ひびきの地区にあそけん誕生 親が大丈夫なら、子どもも大丈夫だから！

20年前に、山を切り崩して拓かれた若松区ひびきの地区には、子育て家庭が流入し続けています。住民同士の繋がりが乏しく、子育て家庭が孤立しやすい状態でした。その頃、0歳の長男とひびきのに移住した代表の秋葉さんは、子育て時期には欠かせない『遊び仲間と居場所づくり』の活動を始めました。2014年秋には、ひびきのキャンパス内の空き店舗を活用し、仲間と共に誰でも自由に集まれる居場所、

“あそび工房ひびきのフリースペース”を作り、翌年には、法人格を取得しました。

「色々な年齢の子ども達が一緒に遊ぶから、毎日新しい発見があって面白いよ。」と笑顔で語られていました。子どもには、『楽しい遊び場』。外で遊んだり、宿題したり、のんびりしたり…、みんなで食事をしたりしています。保護者には、同じ思いを共感する『仲間が見つかる交流の場』です。いつの間にか、居場所であると同時に「子育てフリースペース」や「寺子屋」、「子ども食堂」の役割を果たしています。昨年からは、秘密基地っぽく“ひびきのbase”と呼び名を変えています。

“ひびきのbase”に
取材に行きました！

- 大人も子どももまもるよ！
〈あそけんポリシー〉
- ◆いつもみんなであそびます
 - ◆ちいさいこには やさしくします
 - ◆じぶんのできることを
(みんなのために) さがしてします
 - ◆あいさつをします。
「おはよう」「ありがとう」
「ごめんなさい」「おねがいします」



活動場所が増えて「ゆるいつながり」も増えてます

活動への理解が広がるにつれて活動場所が増えています。“ひびきのbase”に加え、イオン若松ショッピングセンターや若松ポート内でも「フリースペース」と「子ども食堂」を開催するようになりました。「子ども食堂」は、毎回80~100人ほどの利用があり「そこに行けば会える」という、ゆるいつながりが作られています。資材や食材など、賛同してくれる近隣の企業からの支援が、こうした活動の大きな支えとなっています。

食品ロスを減らす取り組み「くきのうみフードパントリー（食品配布）」

昨年からは、環境と食育の取り組み「フードパントリー（食べれるのに廃棄されてしまう食品を、みんなに分け合う）」活動を始め、摘みたてのトマトなどを“ひびきのbase”で配布してきました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休校期間中でも、感染対策を講じながら活動を継続し、外出自粛で滞った食品を配布しました。人との接触が絶たれ、さらに家計への食費負担が増える中で、フードパントリー活動への反響は大きく、毎回多くの親子連れが参加しており、気分転換して帰れると好評です。



ひびきのbaseを飛び出し、サポートセンターで開催！

6月25日（木）NPO活動発表会として、黒崎で初めての「フードパントリー」を当センター内で開催し、予約した55組にトマトやスープなどの食品を配布しました。同時に「フードドライブ」も行い、家庭で余っている食品や文具がたくさん集まりました。品物は、子ども食堂や学習支援など、今後のあそけんの活動で使われます。

笑顔で活動する子連れママスタッフや学生スタッフに話を聞くと、「家族から良い活動をしてるねと感心される。」「子どもが、あそけんに行きたい^{x2}って言う」など、あそけんの魅力を感じ積極的に参加されています。最後に「コロナで孤立する家庭がないように、市内の子ども食堂を利用してほしい」と秋葉さん。詳しくは、子ども家庭局のHPか電話（093-582-2410）で確認してください。



「これが売れないトマトなの？」
新鮮なトマトを眺める参加者
(まだ販売できない、試験栽培品種を
提供していただきました。)





助成金情報



助成制度名	分野	実施主体	締切
J T SDGs 貢献プロジェクト	環 境	公益社団法人 日本フィランソロピー協会	随時
2021 年度 社会的・文化的諸活動助成	情報化 社 会	公益財団法人KDDI 財団	7/27
公益信託 大成建設自然・歴史環境基金	環 境	みずほ信託銀行株式会社 リテール・事業法人開発部福祉信託係	7/31
2020 年度助成事業・顕彰事業	子ども	公益財団法人小林製薬青い鳥財団	7/31
2020 年度福祉諸科学事業 ジェロントロジー研究助成	保 健 福 祉	公益財団法人SONPO福祉財団	7/31
1000 人の夢寄金	教 育 文 化	公益財団法人北九州活性化協議会	7/31
YS市庭コミュニティ財団助成	まち づくり	YS市庭コミュニティ財団	7/31

※当センターの助成金コーナーに紙ベースでの情報を設置しています。

また、ホームページ〈キラキラネット〉の「助成金情報」にも掲載しています。

FM KITAQ ラジオ出演団体募集中！

お知らせ



コミュニティFM放送局「FM KITAQ (エフエムキタキュー)」(小倉北区魚町)に出演して、団体のPRをしてみませんか。その様子は後日、YouTubeでも閲覧できますので、団体の活動紹介として活用いただけます。

(毎週木曜日 10時30分~10時45分)

出演ご希望の団体は、ぜひお問合せください。



ムーブサテライト(ムーブ1階)の紙折り機が現在故障しています。ご利用を希望される場合は、サポートセンター(コムシティ3階)の紙折り機をご利用ください。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



NPO 法人数・新規設立法人情報



北九州市内のNPO法人数：302団体 (令和2年6月末現在)

※市内に主たる事務所を置くNPO法人数

【新規設立法人 (令和2年6月中に認証)】

・6月中に新規設立した法人はありません。



市民活動のお悩み解決！相談&セミナー情報（無料・要予約）



法人
対象

税理士相談会

会計や税務に関する相談（1 団体 1 時間）

8月12日（水）、9月9日（水）
17時～20時（原則第2水曜日）

NPO
対象

NPO 入門説明会

NPO 法人設立の準備を始めた方向け

8月12日（水）、8月26日（水）
19時～20時（原則第2・4水曜日）

どなた
でも

8月サポートセンターの日 8月7日（金）14時～15時30分

子ども食堂を通した
笑顔あふれる交流の場を目指して

みんなが笑顔になれる交流の場を目指し、子ども食堂などに取り組んでいる団体です。活動のきっかけや今後の抱負などをお話していただきます。

発表：NPO 法人 Smile ネットワーク北九州
理事長 山縣 郁子氏

定員：20名

※ご来場の際は、感染防止のためにマスクの着用をお願いいたします。



Thinking 内田相談員

●何かしたいと思う方、実際に活動をしている相談員と話すことで、形がみえてくることがあります。内田相談員の担当は毎週水曜日17時～21時です。（要予約）

■特定非営利活動法人スポーツウエイヴ九州 理事長 内田 満氏

1970年長崎県生まれ…まもなく50歳です。大学を卒業し、北九州で最初の仕事として健康運動のトレーナー活動に従事し、2000年にNPO（分野：スポーツ/健康/マネジメン）を立ち上げました。

新型コロナウイルスの影響で、オンラインというものが日常化しつつありますが、仕事は効率化されつつも、本質はやっぱり変わらないのではないかとと思っています。

大学の授業にしても、対面授業でやっていたものがオンライン授業になったからといって、極端に素晴らしくなるわけでもなく、ダメになるわけでもない。やっぱり人の本質は「出会い」ではないのだろうか、と。スポーツという英語が日本語に訳されるときに、その一つとして「運動」という言葉が生まれたと言われていました。「体を動かす」ではなく、「運を動かす」なのです。

ある金メダリストから習ったことですが「1位と2位の差はほんの僅か。これは運の違いだと言っている。そのためには神様を味方につけること。神様を味方につけるには、神様が喜びそうなことを普段からすること。しかも、人知れずにやった方が神様は喜び。すると、運が寄ってくる。人が寄ってくる。たくさんの方が応援してくれるようになる。」と。運を動かすスポーツとは、こういうことなんだと、この年になってやっとわかってきたような気がする50歳手前のオッサン。コロナに負けず、みなさまも、良き出会いを！



NPO・市民活動の相談窓口

◆北九州市市民活動サポートセンター

TEL：093-645-3101

FAX：093-645-3102

開館時間：月～土10：00～21：00

日・祝10：00～19：00

（毎月第1・3・5月曜日及び年末・年始は休館日）

北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3F

HP（キラキラネット）<http://www.kirakirakita.jp>

メールアドレス

support3@axel.ocn.ne.jp



QRコード

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大や、今回の大雨による被害など、生活環境の大きな変化が、子ども達にどんな影響を与えているか心配しています。周囲の大人がしっかり見守って、子ども達のちょっとした心の変化などにも気づいてあげられるようにしたいですね。 by みんな